

CLUB WEEKLY No.0057

よいことのために手を取りあおう

2026-27年度 RI会長 オラインカ・ハキーム・ババロラ

会員増強・新クラブ結成推進月間

例会日:2026年8月17日(令和8年8月17日)



今日の例会

2026年8月17日

- 理事会 17:30~18:20
- 東大阪中央RCと合同例会 18:30~20:00
- 進行担当 青戸会員
- 今日の歌 君が代・奉仕の理想・手に手つないで
- 出席・ニコニコ 小林会員

次回の例会

2026年8月24日

- オンライン例会 12:30~
- 進行担当 竹谷会員
- 今日の歌 それでこそロータリー
- 出席 和田会員

会長の時間

【会長 間嶋伸治】

皆さま、こんにちは。

本日は、第1回クラブ協議会に、松尾ガバナー補佐様、脇ガバナー補佐エレクト様にお越しいただきまして、誠にありがとうございます。また、各委員長の皆さまには、今年度のクラブとしての奉仕活動の進捗状況、そして今後の目標について、ご発表をどうぞよろしくお願いいたします。松尾ガバナー補佐様、脇ガバナー補佐エレクト様には、これまでも何度もたくさんのご助言をいただき、本当にありがとうございます。私たち大阪上方ロータリークラブも、会員みんなで力を合わせ、そして2660地区をみんなで盛り上げていけるクラブにしていきたいと思っています。上方から何かを発信していけたらという風に思って、皆さんと一緒に活動していきたいです。また、本日は衛星クラブの皆さまにもご参加いただいております。皆様本日はどうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございました。



【幹事 中島勇人】

幹事報告

- ① 8月23日に神戸ポートピアホテルに開催されます、「ロータリー財団フォーラム」“ジェニファーさんと大いに語ろう” 管理委員長ご夫妻歓迎会には満員会員がご出席されます。よろしくお願いいたします。
- ② 本日回覧を「台北市東湖RC訪問のお伺い」を回しております。ご確認を宜しくお願いいたします。

大阪上方ロータリークラブ

創立:2024年7月22日 例会:第1・3週目は対面・第4週目はオンライン

会長:間嶋 伸治
幹事:中島 勇人
会報資料担当:青戸 佳世

【例会場】〒543-0001 大阪市天王寺区上本町 6-1-55 シェラトン都ホテル大阪
TEL:06-6773-1111 FAX:06-6773-3322
【事務局】〒579-8058 東大阪神田町 3-12 医療法人翔聖会 気付
TEL:080-2026-1803 Mail:osaka.kamigata.r.c@kind.ocn.ne.jp

奉仕部門受賞 表彰式

受賞者

古河亜紀子 竹谷美和
道木憲子 和田悠希子



2025-26年度 奉仕部門賞表彰状が
吉川健之25-26ガバナーより届いております。

4部門受賞いたしました。

青少年奉仕 古河亜紀子 会員、
社会奉仕 竹谷美和 会員、
クラブ奉仕 道木憲子 会員、
国際奉仕 和田悠希子 会員、



台北市東湖RC メッセージ

【会長 童立姍（テレサ）様】

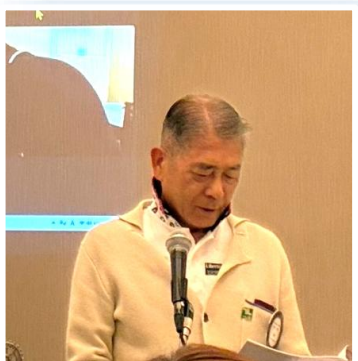


はい！みなさん。
前回お送りいただいた動画は本当に素晴らしく、開会式で上映した際には、会場の皆様にも大変喜んでいただきました。

私たち東湖ロータリークラブ一同、アッパーロータリークラブの皆様を心よりお迎えできる日を楽しみにしております。
そして、これからも末永い友情と相互支援の関係を築いていけることを心から願っております。
貴クラブと姉妹締結書を交わし、今後交流できる事を楽しみにしております。

年次計画

各委員長の年次計画は配布の
「クラブ概況・活動年次計画」を
ご参照ください。



年次計画

【大阪上方ロータリー衛星クラブ 議長 藤間好太郎会員】

「皆様、こんにちは。衛星クラブの議長をしております、藤間です。

衛星クラブの今年のテーマは、「Into the Groove(イントゥ・ザ・グルーヴ)」です。会員一人ひとりがそれぞれの個性を発揮し、力を合わせながら、社会にインパクトを与えるような活動をしていこう、という思いを込めて、このテーマを掲げました。その活動の一つとして、2年前からペットボトルキャップの回収活動に取り組んでいます。集めたペットボトルキャップをリサイクル業者に持っていき、ポリオワクチンの費用として活用されるという取り組みです。最初は、「そんな面倒なことを誰がするの?」「そんなことをして何になるの?」と言われることもありましたが、活動を続けていく中で、企業の皆様にも少しずつご賛同いただけるようになりました。現在では、鈴木自動車様、コープさん、三井住友銀行など、さまざまな企業もご参加されています。昨年度の実績では、なんと約150万人分のポリオワクチンになりました。そして今年に入ってから、さらに活動の輪が広がっています。会員が「このペットボトルキャップがポリオワクチンにつながるんですよ」と声をかけると、皆さん「それなら協力します」と、あっという間に2袋、3袋と集めてくださいます。一人では小さな活動でも、声を掛け合い、みんなで取り組むことで、大きな力になることを実感しています。これからも「Into the Groove」のテーマのもと、会員それぞれの個性を生かしながら、少しでも社会にインパクトを与えられるような活動を、みんなで力を合わせて続けていきたいと思っています。



講 評

【ガバナー補佐エレクト 脇 隆俊様】



皆様、長時間お疲れさまでございます。

私は、2027-28年度にガバナー補佐を務めさせていただきます、大阪御堂筋本町ロータリークラブの脇 隆俊と申します。どうぞよろしくお願いいたします。皆さん、ガバナー補佐エレクトがどのように選ばれるか、ご存じでしょうか。第4組は3つのグループに分かれておりまして、現在訪問させていただいております大阪上方ロータリークラブは第3グループに所属されています。私の所属する大阪御堂筋本町ロータリークラブ、そして大阪ネクストロータリークラブ、大阪南ロータリークラブも同じグループです。私が来年度ガバナー補佐を務めさせていただきますので、皆様にガバナー補佐エレクトの順番が回ってくるのは3年後ということになります。その際には、この3クラブの中から1名が選ばれることになります。

各クラブによってガバナー補佐の選出方法は異なりますが、私の場合は、私が欠席していた理事会で決まりました。

皆さんご存じかと思いますが、ロータリーには「85歳ルール」というものがあります。ロータリー在籍25年以上で、年齢と在籍年数を合わせて85以上になると、例会出席免除の特典を受けることができます。私もその対象になるということで申請を考えていたところ、理事会から「ガバナー補佐エレクトになるように」とご指示をいただきました。今年度は幹事を務めながら、3回目の幹事として、そしてガバナー補佐エレクトとして活動しております。ガバナー補佐エレクトは、毎月開催される「ガバナー補佐エレクト会議」に出席することになっております。7月16日には、第1回目のガバナー補佐エレクト会議が開催されました。そこでは、私がガバナー補佐を務める年度の吉村ガバナーをはじめ、代表幹事、そして他のグループのガバナー補佐エレクトの皆さんと一緒に、さまざまなお話を伺いました。まだ何も分からない状態ではありますが、実はガバナー補佐エレクト会議が始まる前から、こうして各クラブを訪問させていただいております。その中で教えていただいたのは、ガバナー補佐として各クラブを訪問する際に、クラブの役員・理事の皆様からのお話をしっかりと聞き、1年間かけて勉強すること。そして、自分がガバナー補佐になったときに、皆様にきちんと講評ができるようになることです。

そのような中で、本日は「講評」ということでお話をさせていただきますが、まだ経験も浅いものですから、私が今日感じたことを少しだけお話しさせていただきます。大阪上方ロータリークラブは、まだ3年目ということですが、正直、少し驚くほどクラブとしての基盤がしっかりと出来上がっていると感じました。子ども食堂、ポリオ根絶、歯科検診などの奉仕活動をされている

だけでなく、オンライン会員制度も設置され、ホームページやメディアも先ほど見せていただきますと非常に充実しています。さらに、衛星クラブがあり、そして新たに台北のロータリークラブとの姉妹クラブ提携されたと同じました。実際に 3 年目でこんなに充実したクラブは多分他にないと思います。私自身、自分の所属するクラブを振り返ってみて、少し恥ずかしくなるほどでした。まだまだ十分な講評はできませんが、今日、実際に皆様の活動を拝見し、大変勉強になりました。これからも大阪上方ロータリークラブがますます発展されますことを、心より祈念しております。

講 評

【ガバナー補佐 松尾 治様】

皆さん、こんにちは。今年度、ガバナー補佐を務めております松尾でございます。先ほどエレクトからお話がありましたが、「ガバナー補佐って、いったいどんな仕事なんだろう?」と思われる方もいらっしゃると思います。昨日、こちらへ来る前に、私自身も一度整理しておこうと思ひまして、昨晚考えてみました。まず、「地区って何をしているんやろう?」ということです。考えてみますと、地区の役割というのは、ロータリーインターナショナルと皆さんのクラブとの橋渡しをすることではないかと思ひます。ロータリークラブと名乗る以上、ロータリーインターナショナルのルールがあります。

当然、そのルールについて「こうしてほしい」という意見を出すこともできます。

全世界のロータリアンの希望や意見が吸い上げられ、それがロータリーインターナショナルの理事会や審議会で議論されていくわけです。ですから、「ロータリーのルールとは何なのか」「こういう場合はどうしたらいいのか」と皆さんから聞かれたときに、お答えする立場がガバナー補佐であり、ガバナーであると考えております。そういう役割の中で、まず皆さんには、地区へのご協力に心から感謝申し上げたいと思ひます。特に、こちらのクラブが取り組まれているパキスタンへの支援です。私自身、繊維業界におりますので、パキスタンには仕事でも関わりがあります。パキスタンの綿、いわゆる「パキ綿」は非常に品質が安定していると言われております。また、技術者の方々もヨーロッパなどで勉強されていて、一定のスタンダードまで技術を身につけた上で工場を運営されております。ですから、日本から綿の糸や布を買いに行くこともありますが、皆さんもご存じのように、パキスタンは決して治安の良い国ではありません。日本で考えるような治安の状態ではないことは、はっきりしております。そういう地域に対して、このクラブが、安定した安心できる水の供給、そして排水の処理などに一生懸命取り組んでおられる。しかも、それを地区のグローバル補助金を活用しながら進めておられるということで、我々としても非常に嬉しく本当に感謝申し上げたいと思ひます。それと、もう一つ、私がガバナー補佐として感じていることがあります。脇さんが去年の私の立場でしてきたことをやっていたらいいんですけど、IM 4 組は 13 組ありましてその中で、いろいろなクラブを訪問させていただきました。ちょうど八尾ガーデンロータリークラブのチャーターナイトにも行かせていただきました。そこで、「こういうクラブもあるんやな」と、非常に驚きました。どういうクラブかといひますと、まず会費が7万円なんです。7万円の会費から地区への上納金や人頭分担金などを納めて、それで実際に自分たちの奉仕活動ができるのかなと思ひたんですが、本当にできるんですね。もともと地域で活動されていた方々が中心になってクラブをつくれ、そこからスタートされたそうです。そして、女性17名、男性33名、合計50名でスタートされました。当然、女性の若いメンバーもいらっしゃると思いますので、お子さんを連れて例会場に来られるんです。本当に小さなお子さんがいる例会場で、例会の運営も自分たちで手弁当でやっておられる。プリズマホールというところの一部の喫茶店を時間借りして、そこで自分たちで運営されているんです。それを見て、「これはまたアットホームな感じがするな。こういうのもありやな」と思ひました。私は東大阪西ロータリークラブですと育ってきまして、模範としていたのは親クラブである東大阪ロータリークラブでした。「ロータリークラブって、こういうもんなんや」と思ひ込んで、36年間やってきました。ところが、いろいろなクラブを見ていると、「なんじゃこりゃ? こういうのもありやな」と。本当に目からウロコでした。ロータリーには、もちろん友情があります。でも、やはり我々のあるべき姿は、奉仕すること、そして奉仕する喜びを経験することではないかと思ひます。そう考えたときに、「こういうロータリーの形もありなんじゃないか」と思ひたわけです。本当にありがたいことに、今のロータリーインターナショナルの考え方も、ロータリークラブそれぞれの特長性、独自性を認めていこうという方向になっています。そのためにルールもつくっていきましようという、非常に広い心でやっています。ですから、我々としても活動しやすくなっているのではないかなと思ひます。



そういう雰囲気、そして地区の考え方を皆さんにお伝えすることも、ガバナー補佐の務めではないかと思っております。機会があるごとに、そういうお話もさせていただきたいと思います。それから、ロータリーの地区として、皆さんの活動を徹底的に支援させていただくということも大きな役割です。特に今年度の横田ガバナーは、青少年奉仕に力を入れていきたいと考えておられます。やはり我々ロータリーも、徐々に若い人たちを育てて、ロータリーというものを次の世代につないでいかなければいけません。子どもたちを支援しながら、「ロータリーのおじさん、おばさんって、いい人やね」「自分たちもロータリアンになりたいね」と、そんなふうにも思ってもらえるような活動につなげていきたいということです。「ロータリアンって、何のためにやってるんねん？」ということを考えますと、やはり、自分が奉仕できる立場にあって、その奉仕をしたことで皆さんに感謝される。そして、自分自身も達成感を感じる。そこに、「やってよかったな」と納得できる、いわゆる「ロータリーモーメント」のようなものが生まれるんじゃないかと思います。そういう経験を、自分たちの知り合いや友人にも同じように経験してもらいたい。そういう人たちが増えていけば、それが会員増強にもつながっていくのではないかと思います。そして、そういう人たちが一人でも多くなれば、ロータリーだけではなく、より豊かな生活、より豊かな社会ができていくのではないかと考えております。ぜひ、会員増強にも力を入れていただきたいと思います。これが、基本的に我々地区の仕事ではないかと思っております。そして、このクラブはまだスタートして間もないクラブですが、すでに非常にきちとした形ができ上がっています。衛星クラブとしての活動、そして出席できない方のためのリモートシステムなども取り入れながら活動されています。これは我々東大阪西ロータリークラブも、ぜひ見習わせていただきたいと思います。若いクラブではありますが、本当に素晴らしい活動をされています。今後もぜひ、このクラブらしい形を大切にしながら、さらに発展していただければ、我々地区としても非常に嬉しく思います。これもちまして、講評とさせていただきます。

閉会の辞

【会長エレクト 濱部 英明】



これもちまして、2026-2027年度 第1回クラブ協議会を終了いたします。各委員長の皆様におかれましては、本日に至るまでのご準備、そして本日、熱心に事業計画や貴重なご意見を発表していただきましたこと、心より厚く御礼申し上げます。

本日の協議を通じて、我がクラブが目指すべき方向性と、各委員会の素晴らしい奉仕活動の構想が、より明確になったことと思います。

本日いただいた貴重なご意見やアイデアを今後の活動に反映し、会員一丸となって、より素晴らしいクラブ運営を行ってまいりましょう。それでは、これもちまして閉会の辞とさせていただきます。本日は皆様、誠にありがとうございました。

